



令和6年度「世界エイズデー」キャンペーンテーマ

1 キャンペーンテーマ

『 U = U 知ることから、もう一度。12月1日は世界エイズデー。』

2 趣旨

本キャンペーンテーマは、主として次に掲げるメッセージを発信するものです。

これまでH I V／エイズに対して様々な取組がなされてきました。治療法の進歩によりH I V陽性者の予後が改善された結果、H I V陽性者は感染の早期把握、治療の早期開始・継続によりエイズの発症を防ぐことができ、H I Vに感染していない人と同等の生活を送ることが期待できるようになりました。また、近年では、H I V治療を受け、血液中のウイルス量が検査で検出できない程度に最低6ヶ月以上継続的に抑えられているH I V陽性者からは、性行為によってH I Vが感染することがないことも確認されています。このことは、Undetectable（検出限界値未満）= Untransmittable（H I V感染しない）、略して「U = U」と呼ばれています。

つまり、治療の進歩でH I V陽性者の生活は大きく変わり、H I V感染の予防にもその進歩に支えられた様々な選択肢が用意されるようになりました。しかし、現状はそうした変化が正確な情報として十分に伝わっているとは言えず、有効な治療法がなく死に至る病であった時代の認識にとどまっている場合が少なくありません。そのことがH I V感染を心配する人たちを検査や治療から遠ざけ、また、差別や偏見を招く要因の一つになっているとも言われています。

そこで、今年度の「世界エイズデー」キャンペーンテーマは、この「U = U」という言葉を知ることを契機に、もう一度H I V／エイズのことを皆で考えてみましょうというメッセージが込められています。ひとりでも多くの人がH I V／エイズのことを自分の事として捉え、H I V／エイズに関する検査や治療、支援などの知識を身につける契機とし、最新の知識の普及を通じて、H I V検査の受検促進や差別・偏見の解消につなげていきたいと考えています。

